

令和元年 8 月 1 日更新

駐箆エルサルバドル共和国特命全権大使として 2 年が経過しました。この 1 年間当国では政治面で大きな変化があったと思います。

本年 6 月、エルサルバドルではブケレ大統領が就任しました。38 歳という大変若い大統領です。就任後は、エルサルバドルにとって根源的な課題である治安対策に着手し、精力的に取り組んでいます。同時に、移民問題にも取り組みつつ、インフラ計画も発表し、民間との協働を推し進め雇用改善といった政策を打ち立てています。当館としましては、新政権の閣僚や公的機関の長、大学等との交流・相互理解を深め、日本とエルサルバドルとの間の友好親善関係や経済発展関係など引き続き深耕していきます。

開発協力の面では、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じ、学校設備の整備、飲料水の供給施設の整備を中心に今後も継続・実施していきます。こうした協力を実施する上で、他国ドナーや国際機関との連携を通じ、相乗的な効果を生み出すことを目指し、それぞれのドナーが実施する個別のプロジェクトが面としての広がりを持つことで、エルサルバドルの社会経済のさらなる発展につながることを期待します。また教育省による地方の学校のインフラ改善計画も発表されましたので、当館が実施している草の根・人間の安全保障無償資金協力プロジェクトとの間でシナジーが出るように努めます。さらに、農業、地熱井開発、シャーガス病対策、防災、環境保全等の分野での協力や、中米統合機構(SICA)を通じた地域協力に加え、新たな協力の可能性についても模索していきたいと考えます。

日本企業による新規投資は 2 件あり、現在 10 社の事業投資会社、3 社の支店となります。日本企業による新規投資、ビジネス開拓を積極的に支援していきます。投資・ビジネス分野としては、地熱発電、船舶修理サービス事業、医療サービス業、自動車部品製造業、輸入代替商品への投資の機会が考えられます。また、エルサルバドルは、いわば「中米市場の玄関口」と言える国です。今後は、こうしたエルサルバドルの市場としての性質を踏まえ、高品質カカオ、藍、海老といった製品の対日輸出を促進しつつ、エルサルバドルへの輸入拡大も支援していきます。

エルサルバドルには、500 人を超える日本語学習者がいます。エルサルバドルの人口を考えるとこの数は決して小さい数字ではありません。当館としては、日本文化への理解を

促進すべく、日本語教育の支援をはじめ、文化・スポーツイベントの開催、高校や大学での講演会の実施、テレビ・ラジオでの文化広報を積極的に行っています。1年前に開始した当館の facebook のフォロワーは約 1 万 6 千人となりました。引き続き、広報・文化事業を積極的に展開していきたいと思えます。

また、日本の私立大学のイニシアチブにより当国の 3 つの大学と零細中小企業委員会と人材交流の提携が始まりました。当館としてはこうした交流のお手伝いもしていきます。

邦人の生命・財産を保護することは大使館の重要な任務です。在留邦人の方々との交流を進めつつ、治安等に関する情報の共有をタイムリーに行い、皆様の安全の確保に務めていきます。

最後に、日本企業関係者の皆様、当国にご出張の際には是非とも当館と情報交換をさせて頂き少しでも皆様方のお役に立てるように館員一同準備しております。また、在留邦人の方々も気軽にお立寄り頂き、情報交換をさせていただければ幸いです。

令和元年 8 月

在エルサルバドル共和国  
日本国大使館  
特命全権大使  
樋口 和喜